

市民活動をサポートします！ ～市民活動センター～

市民活動センターは、ボランティア、NPO法人、自治会などの市民活動を支援するため、さまざまな事業に取り組んでいます。経験を積んだスタッフがサポートしますので、ぜひ一度お立ち寄りください。

【相談を受け付けます】

市民活動に関するさまざまな相談を受け付けます。市民活動を始めたい方、団体運営の困りごと、イベント・講習会の企画に関することなどお気軽にご相談ください。経験を積んだスタッフがサポートします。

【週末プチイベントを開催しませんか】

市民活動をスタートしたい方には、安桜ふれあいプラザで開催する「週末プチイベント(週末を利用して開催する講座、セミナー、発表など)」の活用をご提案します。市民活動をしたいという気持ちがあれば、どなたでも開催できます。初めての方も大歓迎です。

【利用できます】

市民活動に役立つ機器などを備えています。ぜひご利用ください。

◎主な機器

◆コピー機	1枚10円	◆紙折り機	無料
◆パソコン	無料	◆ラミネート加工	実費
◆プロジェクターとスクリーン	無料	◆ミーティングスペース(6人程度)	無料
※印刷機(安桜ふれあいプラザ内) 1回500円、製版1回ごとに50円、紙は持ち込み			



照会先 市民活動センター ☎24-7772 FAX24-7660

広瀬惟然300回忌特別連載⑤

「風羅念仏踊りについて」

惟然坊風羅念仏

- 1 先たのむ椎の木もあり夏木立 なもうだあなもうだあ
音はあられか檜木笠
折れてかなしき桑の杖 " "
- 2 雪ちるや穂屋の芒のかり残し なもうだあなもうだあ
友を今宵の月の客 " "
雪の袋や投頭巾 " "
- 3 ともかくもならでや雪のかれ尾花 なもうだあなもうだあ
空也の瘦も寒の中 " "
塚もめぐるかはち叩き " "
- 4 古池やかはづ飛びこむみづの音 なもうだあなもうだあ
鐘は上野か浅草か " "
京なつかしやほととぎす " "
- 5 やがて死ぬけしきは見えす蟬の声 なもうだあなもうだあ
はかなきゆめを夏の月 " "
峰に雲おくあらし山 " "
- 6 魂まつり今日もやきばのけむりかな なもうだあなもうだあ
夢は枯野をかけめぐる " "
悟らぬ人のとうとさよ " "

この「風羅念仏」は、惟然が芭蕉の句を和讃に仕立て、ふしと振りをつけ、歌い踊り歩いたものである。その主旨は芭蕉の別号「風羅坊」の風羅から取り、「なもうだあ」とは南無阿弥陀仏の意であることから、師である芭蕉の菩提を弔うことにあった。この念仏の1番から6番までの歌詞を通読してみると、よくよく熟考の上の構成であったことがわかる。冒頭に置かれたそれぞれの句は、芭蕉の著名な句であることに加え、禅的な香りが濃厚である。そして、その後続く上五を切り捨て、中七、下五だけで登場する句には、冒頭の句に呼応するかのような対称物が必ず入っている。例えば1番で言えば「笠」と「杖」で聴く者に「旅」を連想させ、旅に生き、旅に死んだ芭蕉の人生観を思い起こさせる。2番では、「客」と「投頭巾」を置くことにより、芭蕉が旅の中で人との出会いを喜んだことを物語っている。3番では「空也」と「はち叩き」で、仏道に入りきれなかった芭蕉の呻吟を伝えている。4番では、東西の地名を置くことにより、どの地も思い出深いものであったことを連想させる。5番では芭蕉の死期を予感させ、6番では、芭蕉辞世の句の中七を入れて安らかな臨終と成仏を語っている。ちなみに風羅念仏は、300年を経た今日まで口伝で継承されている。

(惟然研究家・俳人 沢木美子)

◎史話には諸説あります。また、限られた紙面の都合上、表現・表記が簡略化される場合があります。

広瀬惟然300回忌俳句大会実行委員会事務局 文化課(☎246455)

